

科目名	数学Ⅰ 数学Ⅱ		必履修 学校必履修	使用 教材	「数学Ⅰ」, 「数学Ⅱ」(数研出版) 「サクシード数学Ⅰ+A」(数研出版) 「サクシード数学Ⅱ+B」(数研出版)
学年 学級	1年 普通科	単位数	数学Ⅰ 3 数学Ⅱ 1	教科 担当	伊東・大平・西田・松下 村上・宮野・須藤

期 間	授 業 計 画	到達目標
1 学期 中間 まで	第1章 数と式 第1節 式の計算 第2節 実数 第3節 1次不等式	多項式の展開・因数分解, 実数, 1次不等式を理解し, 具体的な事象について式を用いて表し, 必要に応じて変形して, 論理的に処理できる。
	第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ 1 関数とグラフ	2次関数とそのグラフの特徴や定義域・値域の意味を理解し, それを活用して2次関数の式や最大値・最小値を求められる。2次方程式や2次不等式の解の意味を理解し, 具体的な事象に対してグラフを用いて問題を解くことができる。
1 学期 期末 まで	2 2次関数のグラフ～ 第2節 2次方程式と2次不等式	
2 学期 中間 まで	第5章 データの分析	平均値, 分散, 四分位数などの資料の代表値を利用してデータの分析ができる。また, 相関係数について理解する。
	第4章 図形と計量 第1節 三角比 第2節 三角形への応用	直角三角形の三角比としての正弦, 余弦, 正接の意味を鈍角まで拡張して理解する。相互関係, 正弦定理・余弦定理を導き, 図形の計量に活用することができる。
2 学期 期末 まで	第2章 集合と命題	集合の考え方を理解し, 式で表現できる。命題, 条件とは何かを理解し, 論理的に考えることができる。
	(数学Ⅱ分野) 第1章 式と証明 第1節 式と計算 第2節 等式と不等式の証明	二項定理の考え方を理解し, 発展させる。多項式の割り算, 分数式の四則計算ができる。恒等式の性質を理解する。多項式, 分数式の等式が証明でき, 条件付きの等式の意味が理解できる。不等式の証明ができる。
学年末 まで	第2章 複素数と方程式	複素数の四則計算ができる。解と係数の関係, 剰余の定理, 因数定理を理解し, これらを活用して問題を解くことができる。
	第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 第2節 円 第3節 軌跡と方程式	2点間の距離, 線分の内分点・外分点の座標を求めることができる。座標平面上の直線や円を表す方程式を求め, 円や直線の位置関係について考察することができる。与えられた条件を満たす点の軌跡を求める。不等式で表される領域を図示することができる。

科目名	数学 A		学校必修	使用教材	「数学 A」(数研出版) 「サクシード数学 I + A」(数研出版)
学年 学級	1 年 普通科	単位数	2	教科 担当	豊嶋・松下・天田・内藤・宮本

期 間	授 業 計 画	到達目標
1 学期 中間 まで	準備 集合	集合の表し方, 部分集合, 共通部分と和集合, 補集合などについて基本的な考え方を理解し表現できる。
	第 1 章 場合の数と確率 第 1 節 場合の数 1 集合の要素の個数 ～ 4 円順列・重複順列 5 組合せ (一部)	樹形図, 和の法則, 積の法則を用いて過不足なく場合の数が求められる。順列, 組合せの意味を知り, 場合の数の総数を求めることができる。具体例を通じて, 確率の意味を理解する。独立な試行の考え方, 反復試行, 条件付き確率, 期待値の意味を理解し, 確率が計算で求められる。
1 学期 期末 まで	5 組合せ 第 2 節 確率 6 事象と確率 ～ 9 反復試行の確率 10 条件付き確率	
2 学期 中間 まで	11 期待値 第 2 章 図形の性質 第 1 節 平面図形 第 2 節 空間図形 9 直線と平面	チェバの定理, メネウスの定理, 円周角の定理, 円と四角形, 円と接線, 方べきの定理, 2つの円の位置関係など図形の性質について理解することができる。 空間図形についての基本的性質を理解する。オイラーの多面体定理を理解する。
2 学期 期末 まで	10 多面体 第 3 章 数学と人間の活動 1 約数と倍数 2 素数と素因数分解 3 最大公約数, 最小公倍数	整数について約数, 倍数, 最大公約数, 最小公倍数など基本的な性質, 整数の割り算の恒等式について理解する。ユークリッドの互除法について理解し, 互除法を利用して最大公約数が求められる。1 次不定方程式の解法を理解する。n 進法を理解する。
学年末 まで	4 整数の割り算～	
	総合演習	

科目名	<b>数学Ⅱ</b>		必履修 学校必履修 選択必履修	使用 教材	数研出版「数学Ⅱ」 数研出版「サクシード数学Ⅱ+B」
学年 学級	2年普通科	単位数	3	教科 担当	藤本・豊嶋・森・天田・内藤・武内

期 間		授 業 計 画	到達目標
1 学 期	中間考査 まで	第4章 三角関数 1. 三角関数(一般角と弧度法, 三角関数, 三角関数の性質, 三角関数のグラフ, 三角関数の応用) 2. 加法定理(加法定理)	三角比の角を一般角まで拡張した三角関数の性質, 相互関係, グラフの特徴を理解し, それらを用いて三角方程式や不等式を解くことができる。  加法定理の公式を導くことができる。
	期末考査 まで	第4章 三角関数 2. 加法定理(加法定理, 加法定理の応用, 三角関数の合成) 第5章 指数関数と対数関数 (指数の拡張, 指数関数)	加法定理とその応用であるいろいろな公式を導き, 方程式の解法などに活用できる。 指数を実数まで拡張し, すべての実数の指数について指数法則が成り立つことを理解する。指数関数の基本的な性質やグラフの特徴を理解し, 方程式不等式を解くことができる。
2 学 期	中間考査 まで	第5章 指数関数と対数関数 (対数とその性質, 対数関数, 常用対数) 第6章 微分法と積分法 1. 微分係数と導関数(微分係数, 導関数) 2. 導関数の応用(接線, 関数の値 の変化)	対数の基本的な計算が出来る。対数関数の基本的な性質やグラフを理解し, 方程式や不等式野解法などに活用できる。常用対数を理解し活用することが出来る。  具体的な事象の考察を通して, 微分の考え方を理解し, 接線の方程式を求める。
	期末考査 まで	第6章 微分と積分 2. 導関数の応用(最大値・最小値, 関数のグラフと方程式不等式) 3. 積分法(不定積分, 定積分, 面積)	関数の変化を調べ, グラフをかき, それを利用して方程式の実数解の個数を調べたり, 不等式を証明したり出来る。積分の考え方を理解し, 面積や体積を求めることが出来る。
3 学 期	学年末考査 まで	数学Ⅱ 総合演習	

科目名	数学 C 数学 B		必履修 学校必履修 選択必履修	使用 教材	数研出版「数学 B」「数学 C」 数研出版「サクシード数学 II + B」 「サクシード C」
学年 学級	2 年普通科	単位数	3	教科 担当	藤本・西田・宮野・須藤・天田・ 武内

期 間	授 業 計 画	到達目標
1 学 期	中間考査 まで  (数学 C) 第 1 章 平面上のベクトル 第 1 節 平面上のベクトルとその 演算 第 2 節 ベクトルと平面図形	平面上のベクトルの意味や表し方、演算、内積などの基本的な概念や性質について理解できるようにする。 ベクトルやその内積の基本的な性質などを用いて、平面図形の性質を見いだしたり、多面的に考察したりする力を養う。更に、数量や図形及びそれらの関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、ベクトルやその内積の考えを問題解決に活用する力を養う。
	期末考査 まで  第 2 章 空間のベクトル	座標及びベクトルの考えが平面から空間に拡張できることを理解できるようにする。また、ベクトルを用いて空間図形の性質を見いだしたり、多面的に考察したりする力を養う。
2 学 期	中間考査 まで  (数学 B) 第 3 章 数列 第 1 節 数列とその和 1. 数列 2. 等差数列とその和 3. 等比数列とその和 4. 和の記号 $\Sigma$	等差数列、等比数列などの簡単な数列について、一般項や第 n 項までの和を求めたり、記号 $\Sigma$ の意味を理解してそれを用いたりできるようにするとともに、事象から離散的な変化を見だし、それらの変化の規則性を数学的に表現し考察する力を養う。
	期末考査 まで  第 1 節 数列とその和 5. 階差数列 6. いろいろな数列の和 第 2 節 数学的帰納法 7. 漸化式 8. 数学的帰納法	数列の考え方をもとにして、漸化式と数学的帰納法について理解できるようにするとともに、事象の再帰的な関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、数列の考えを問題解決に活用する力を養う。更に、自然数の性質などを見だし、数学的帰納法を用いて証明するとともに、他の証明方法と比較して多面的に考察する力を養う。
3 学 期	学年末考査 まで  第 2 章 統計的な推測 第 1 節 確率分布 第 2 節 統計的な推測	確率変数とその分布の意味を理解できるようにするとともに、確率変数の期待値、分散及び標準偏差が確率分布のどのような特徴を示しているかを理解できるようにする。また、二項分布、正規分布について理解し、日常の事象や社会の事象の考察に活用できるようにする。

科目名	共通数学 I A			使用教材	教科書（数研出版） ニューステージ数学 I A + II B（受験編）
学年 学級	3年文系選択	単位数	2	教科担当	松下

期 間	授 業 計 画	到達目標
第1学期 中間 中間 まで	1. 式の計算（1）～13. データの相関  STEP	数学 I の分野の基本的問題. タイプ別問題に対して解法 を理解する。
第1学期 期末 期末 まで	14. 場合の数・順列（1）～23. 整数の性質（3）  STEP	数学 A の分野の基本的問題. タイプ別問題に対して解法 を理解する。 ここまで全範囲の基本的 な内容を確認する。
第2学期 中間 中間 まで	1. 式の計算（1）～13. データの相関  TRIAL	標準的な問題で全範囲を仕 上げる。
第2学期 期末 期末 まで	14. 場合の数・順列（1）～23. 整数の性質（3）  TRIAL	
学年末 学年 まで	直前授業. 数学 I ・ A の総合問題	センター試験直前. 仕上げの 総合問題演習

	関心・意欲・態度	思考判断	技能・表現	知識・理解
評価 の 観点	数学的な活動を通じて、学習する内容の考え方やその過程に関心を持つと共に、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらをいろいろな物事の考察に活用しようとする。	数的な活動を通じて、学習する内容における数学的な考え方や見方を身につけ、事象を数学的にとらえ、論理的に考えるとともに思考の過程を振り返り発展的・多面的に考える。	学習する内容において、事象を数学的に考察し、表現し処理する方法や推論のしかたを身につけ、的確に問題を処理し解決する。	学習する内容における基本的な概念、原理・法則・用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身につける。
評価方法	授業への取り組みの様子	テストの結果等	テストの結果等	テストの結果等

科目名	文系数学 I A (数学 I)			使用教材	数研出版 クリアー数学演習 I II AB 受験編
学年 学級	3年選択4クラス	単位数	2	教科担当	大平・森 (一)

期 間	授 業 計 画	到達目標
第 1 学期 中間考査 まで	StepUp I 数と式                      II 関数と方程式・不等式 III 式と証明	数学 I A の全ての範囲について、1 学期末まで Step Up 問題を通して、典型的な問題の解法をよく理解し習得する。
第 1 学期 期末考査 まで	IV 整数の性質                  V 場合の数、確率 VI 図形の性質                  VIII 三角比    XIV データの分析	
第 2 学期 中間考査 まで	Clear or Practice I 数と式                      II 関数と方程式・不等式 III 式と証明                  IV 整数の性質	2 学期以降、Clear・Practice 問題の演習を通し、数学の総合的な学力を向上させる。  2 学期中間までに、問題集をほぼ終わらせ、入試問題及び共通テスト対策を実施し、実践的な力をつける。
第 2 学期 期末考査 まで	V 場合の数、確率    VI 図形の性質 VIII 三角比                  XIV データの分析 共通テスト対策問題演習	
第 2 学期末 考査以降	共通テスト対策問題演習 入試問題演習	

※上欄の中のローマ数字はテキストの単元番号。

科目名	共通テスト数学ⅡB（数学演習）			使用教材	数学Ⅱ・B教科書（数研） ニューステージ数学Ⅰ・A・Ⅱ・B
学年 学級	3年選択	単位数	2	教科担当	村上 雄悟

期 間	授 業 計 画	到達目標
第1学期 中間考査まで	基本的な問題演習 24. 式と証明 26. 複素数と方程式 27. 点・直線・円 29. 軌跡と領域 30. 31. 三角関数 32. 指数関数 実践問題 34. 導関数と接線 25. 複素数と方程式 実践問題 28. 曲線と直線 実践問題 33. 対数関数	数学Ⅱの分野の基本的問題. タイプ別問題に対して解法 を理解する
第1学期 期末考査まで	35. 関数の値の変化、最大・最小 36. 微分法の応用 38. 面積 39. ベクトルの基本 41. 空間ベクトルと図形 42. 等差数列・等比数列 44. 漸化式と数列 実践問題 37. 不定積分・定積分 実践問題 40. 平面ベクトルと図形 実践問題 43. 種々の数列 45. 数学的帰納法、応用 実践問題	数学Ⅱおよび数学Bの分野の 基本的問題、タイプ別問題に 対して解法を理解する。
第2学期 中間考査まで	標準的な問題演習	標準的問題を繰り返し演習 することで理解を深める。
第2学期 期末考査まで	標準的な問題演習	標準的問題を繰り返し演習 することで理解を深める。
学年末考査まで	直前授業、数学Ⅱ・Bの総合問題	共通テスト直前、仕上げの総合問 題演習

科目名	文系数学ⅡB（数学B）			使用教材	数研出版 クリアー数学演習ⅠⅡAB受験編
学年 学級	3年選択4クラス	単位数	2	教科担当	伊東・西田

期 間	授 業 計 画	到達目標
第1学期 中間考査 まで	Step Up Ⅶ 図形と式, Ⅷ 三角関数, Ⅸ 指数関数・対数関数, X 微分法 XⅠ 積分法	<p>数学ⅡBの全ての範囲について、1学期末まで Step Up 問題を通して典型的な問題の解法をよく理解し習得する。</p> <p>2学期以降 Clear・Practice 問題の演習を通し、数学の総合的な学力を向上させる。</p> <p>2学期中間までに、問題集をほぼ終わらせ、入試問題および共通テスト対策を実施し、実践的な力を付ける。</p>
第1学期 期末考査 まで	XⅠ 積分法 XⅡ ベクトル XⅢ 数列	
第2学期 中間考査 まで	Clear or Practice Ⅶ 図形と式, Ⅷ 三角関数 Ⅸ 指数関数・対数関数, X 微分法	
第2学期 期末考査 まで	XⅠ 積分法, XⅡ ベクトル, XⅢ 数列 入試問題演習および共通テスト対策	
学年末考査 まで	入試問題演習	

※上欄の中のローマ数字はテキストの単元番号。

科目名	数学Ⅱ（数学Ⅱ）			使用教材	数研出版 クリアー数学演習ⅠⅡAB受験編
学年 学級	3年選択1クラス	単位数	5	教科 担当	森

期 間	授 業 計 画	到達目標
第1学期 中間考査 まで	1. 数と式                      2. 関数と方程式 3. 式と証明                  4. 整数の性質	<p>数学ⅠⅡABの全ての範囲について、Practiceで基礎知識を確認し、Step Upを通して典型的な問題の解法をよく理解し、類題であるを解答することにより習得する。</p> <p>後半は、入試の標準的な問題演習を通して、数学の総合的な学力を向上させる。</p>
第1学期 期末考査 まで	5. 場合の数、確率    6. 図形の性質 7. 図形と式              8. 三角比・三角関数 9. 指数関数・対数関数	
第2学期 中間考査 まで	10. 微分法                  11. 積分法 12. ベクトル                13. 数列 14. データの分析	
第2学期 期末考査 まで	共通テスト対策問題演習	
共通テスト まで	共通テスト対策問題演習	

※上欄の中の数字はテキストのローマ数字の単元番号である

科目名	数学Ⅲ			使用教材	教科書 数研出版 数学Ⅲ 副教材 数研出版 サウンド 数学Ⅲ 数研出版 クリア-数学演習Ⅲ
学年 学級	3年必修選択 5講座	単位数	5単位	教科 担当	豊嶋・伊東・武内・藤本・村上

期 間	授 業 計 画	到達目標
第1学期 中間考査 まで	第4章 極限（三角関数の極限・関数の連続性） 第5章 微分法 第6章 微分法の応用 1. 導関数の応用 2. 速度と近似式	いろいろな関数の微分法を理解し、関数の増減やグラフの凹凸などを考察し様々な問題の考察に活用できるようにする。
第1学期 期末考査 まで	第7章 積分法 1. 不定積分 2. 定積分 第8章 積分法の応用 1. 面積 2. 体積 3. 曲線の長さ 4. 速度と道のり	いろいろな関数の積分法を理解し、図形の求積などに活用できるようにする。
第2学期 中間考査 まで	総合演習 「クリア-数学演習Ⅲ」大学入試問題	大学入試問題を解くことができる。
第2学期 末考査まで	総合演習 「クリア-数学演習Ⅲ」大学入試問題	大学入試問題を解くことができる。
第3学期	個別指導および直前演習	大学入試問題を解くことができる。

科目名	理系数学(数学B)			使用教材	教科書 数研出版「数学Ⅲ」他 副教材 数研出版「ササード 数学Ⅲ」 数研出版 クリア-数学演習Ⅲ
学年 学級	3年必修選択 5講座	単位数	2	教科 担当	豊嶋・伊東

期 間	授 業 計 画	到達目標
第1学期 中間考査 まで	第1章 複素数平面 1. 複素数平面 2. 複素数の極形式と乗法、除法 3. ド・モアブルの定理 4. 複素数と図形	複素数平面を理解し、複素数の各種計算ができる。 複素数利用し、図形を理解する。計算法則を踏まえて、方程式や座標平面上の点の移動に応用できる。
第1学期 期末考査 まで	第2章 式と曲線 第1節 2次曲線 1 放物線 2 楕円 3 双曲線 4 2次曲線の平行移動 5 2次曲線と直線 6 2次曲線の性質 第2節 媒介変数と極座標 7 曲線の媒介変数表示 8 極座標と極方程式	2次曲線の方程式よりグラフがかけられる。 2次曲線と直線の位置関係を理解し計算による共有点の個数など求められる。 図形を $x$ $y$ 平面と極座標平面に相互に変換できる。 2次曲線を媒介変数表示できる。
第2学期 中間考査まで	総合演習「クリア-数学演習Ⅲ」	大学入試問題を解くことができる。
第2学期 期末考査まで	総合演習「クリア-数学演習Ⅲ」	大学入試問題を解くことができる。
第3学期	個別指導および直前演習	大学入試問題を解くことができる。